

ステークホルダーとのコミュニケーション

研修センターの紹介

環境報告書2019年度版で紹介しました研修センター（以下、研修Cという）のその後を報告いたします。

本施設を設置の経緯は、「生産と切離し、実機で一定の研修ができる施設」と紹介しました。

研修者はIPS製品に関わる方々を受け入れる方針によりお客様だけでなく、2021年度には保険組合様からも受講いただき、継続して受講希望をいただいています。

2021年度のトピックスとして、インターンシップ研修では、従来研修Cへ集合し4日間の研修を行っていましたが、コロナ禍により集合せず在宅オンライン1日研修を試験的に行い10名の参加がありました。

研修Cの様子をスマホのライブ画像としてTeamsで共有を試みました。

ZP操船シュミレータは、ZP船の船長気分で操船を

疑似体験できることから研修の皆様へ好評ですが、この度、4月20日から4月22日まで開催された「Sea-Japan」へ、スタンドと操縦ハンドルを新型へ更新したものを出展しました。ご覧になられた方もいらっしゃると思います。

研修者受け入れ状況は、下記表のように推移しています。出口の見えないコロナ禍で2020年度、2021年度の研修者は減少しています。

今後、エンジン業界は脱CO₂に向け新たな燃料機関の開発が進んでいきます。

IPSもこの潮流に乗って（先取）行きます。研修Cは、これからも社内外の技術者育成を通じ、IPS製品の品質とライフサイクル向上の支援に努めて参ります。

年度	研修回数			受講者数			
	社外	社内	計	社外	内海外	社内	計
2018	18	9	27	58	19	35	93
2019	9	14	34	56	13	49	105
2020	10	12	22	28	0	33	61
2021	10	5	15	38	0	21	59



海外のお客様DE研修風景



国内のお客様ZP研修風景